

筑波大学名誉教授の会会報

第16号 2011年3月発行

〈題字：中村伸夫〉

山田信博学長講演会 〔演題：筑波大学の現況等・健康管理について〕

第25回筑波大学名誉教授の会総会（平成22年11月12日（金））終了後、山田信博学長を講師にお迎えし上記演題のとおり講演会を実施いたしました。

特に健康管理については、山田学長の専門領域である生活習慣病（糖尿病）に焦点をあててご講演いただきました。講演内容につきましては、関心のある内容と思しますので纏めた要旨を掲載いたします。

〔会報担当〕

○大学の現況

国立大学法人化後、2期めに入り予算状況が大変厳しい状況の中で、ますます自律性と国民への説明責任（透明性）が求められている状況です。

このような状況の中で、もっと目立ちなさい、露出しなさい等のご意見を多方面からいただき努力をしているところです。その一環として、「筑波ブランド」を実施しております。具体には、第1期生でコピーライターとして活躍している一倉宏氏の協力を得てイメージスローガン「IMAGINE THE FUTURE」とともにメッセージソングを作っていただきました。今後、これらを表に出しながら筑波大学がどんな事を考えているのかを情報発信していきたいと思っております。

平成21年度法人評価においては、教育・施設整備・経営基盤の強化等において高い評価を得ております。卒業生に対して実施したアンケート結果についても満足度が増えている状況です。教育に関しては教育インシティブ機構を設置し、ますます学生の視点から教育を見直していく事を始めているところです。また、学士・修士・博士課程まで一貫した学位の質保証についてもさらに取り組んでいるところです。

○生活習慣病（糖尿病）について

生活習慣病とは、食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒等の生活習慣が、その発症・進行に関与する疾患群をいいます。その中で、高血圧、高中性脂肪血症、低HDL血症、高血糖、肥満は重なりやすく基準値を超えるとメタボリックシンドロームと呼ばれています。日本人は加齢が進むにつれ、遺伝的素因により白人に比べ生活習慣病になり易い傾向にあります。

具体的には、贅沢な食生活・運動不足等が大きな原因となっております。糖尿病も同様に、便利で満たされた生活に起因し発症数が増加している状況です。（注1参照）

糖尿病のこわい点は、まず自覚症状がないため病気の発見が遅くなることです。発病に気づかず病気が進行すると口渇、多飲、多尿、体重減少等がみられるようになり、さらに放置しておくと失明、透析、心筋梗塞、脳梗塞、足壊疽等の合併症が起こる場合があります。

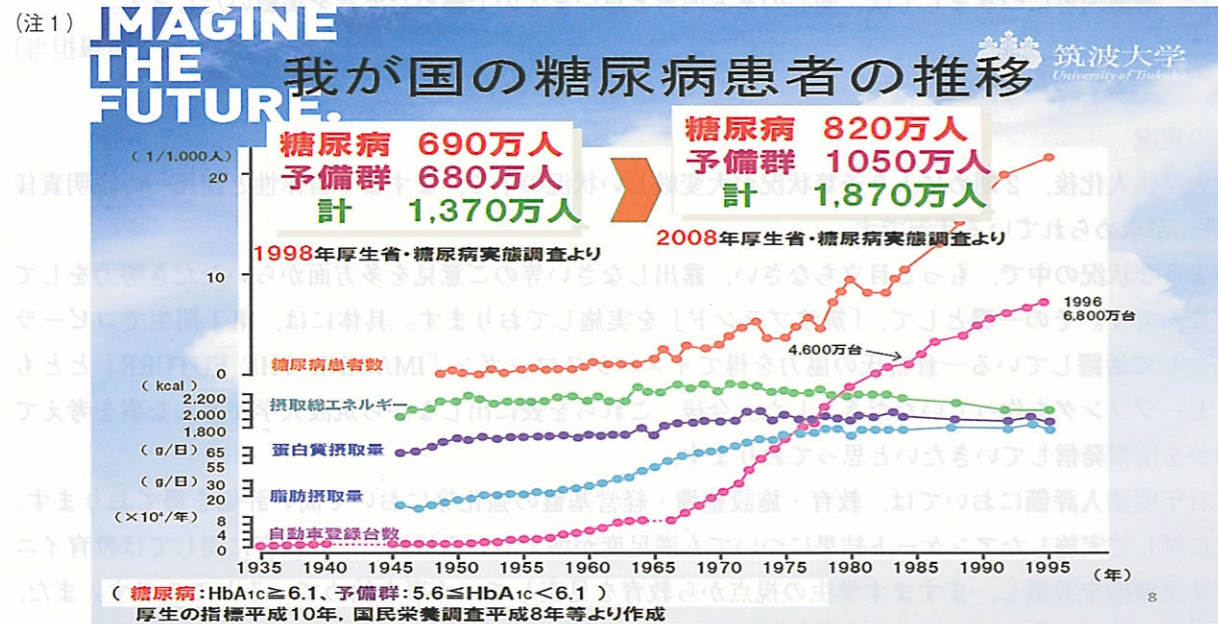
これは、症状が少なく、病気に対しての危機感が弱く病状が進行した状態になってからの診療となってしまう場合が多いことによります。

さらに、現在の薬物療法や技術では血糖のコントロールが大変困難な状況にあることと、専門医が不足していることも糖尿病が解決困難な難治疾患となっている原因です。糖尿病に軽症はまれで侮ってはならない

疾患です。このように大変こわい糖尿病ですが、生活習慣を見直すことによって発症を50~60%抑制することが可能となります。(注2参照)

予防策としては、1に運動、2に食事、しっかり禁煙、最後に薬です。運動の方法としては、先ずは無理をせず散歩を1日に30分を目安に疲れが残らない程度に継続的に行うことが重要です。運動時は、朝食前は良くないので食事後に行うことが大切です。足首、膝、腰を痛めないように準備体操を必ず行い無理のない運動からはじめましょう。食事については、食事は若い人の半分で十分です。全量の半分がごはん、半分がおかず・野菜のバランスが良いでしょう。なるべく単純糖質(砂糖、果物、ブドウ糖)、動物性脂肪の摂取は控えたほうが良いと思います。食事のとり方ですが3食きちんととることが大切です。朝食は、できれば早い時間にすませ夕食と朝食は12時間あけたいところです。間食・夜食は控え脂物は12時間あけたいところです。お酒は、少量なら問題ないでしょう。血糖・肥満の管理は大変ですがしっかりと努めてください。

生活習慣の見直しと同時に定期的検査を受け、健康習慣を身につけることにより日常生活の質(QOL)の維持につとめましょう。



(注2) **IMAGINE THE FUTURE.** 簡単なところから 筑波大学 University of Tsukuba

- 定期的な歩行・運動
- 食事量
- 単純糖質と脂
- 間食、夜食
- 飲酒
- 喫煙
- 定期的検査

©2010 University of Tsukuba 29

お知らせ

☆ 第25回筑波大学名誉教授の会総会(平成22年11月12日(金)・筑波大学大学会館)が開催され、次のことについて了承・報告等が行われました。

- (1) 新規入会者について
- (2) 役員の変更について
- (3) 平成21年度会計決算及び平成22年度会計中間報告について
- (4) 平成22年度叙勲受章者について
- (5) 会員の物故について(昨年度の総会以降)
- (6) 庶務・会計・会報の報告について
- (7) その他

総会に引き続き山田学長による講演会を行いました。講演会終了後は、レストランプラザにおいて懇親会が行われ和やかに歓談が行われました。

看護教育と私

紙屋 克子

2008年3月、定年までを2年残して筑波大学の職を辞しました。
1995年医科学研究科社会医学系に赴任してから、人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学での仕事を終えるまで、筑波大学では思う存分の仕事をさせていただき教育者また研究者として悔いのない13年間を過ごさせていただきました。

私は1995年6月筑波大学に参りました。大学の第一印象はキャンパスが広く開放的なところが出身地の北海道と似ていて、どこか他所に来たという感じはせず、違和感なく溶け込めたことをよく覚えています。かつて私は、北海道大学附属病院で11年看護職として従事したのち、社会福祉と法律を学び、管理職として再び看護の現場に戻り10数年を過ごしました。専門領域は意識障害が遷延化した方の新しい看護方法の研究と看護・介護技術の開発をライフワークにしてきました。臨床での実践活動には満足していましたが、研究環境は十分とはいえず、かなりの不便を感じていました。

しかし、筑波大学ではその両方の環境に恵まれた状況で仕事を進めることができ、本当に幸運でした。やがて定年後の活動を筑波大学で得られた多くの成果を社会に還元したいと考えるようになりました。具体的には臨床看護師の皆さんに新しい看護の方法を直接伝えることと、臨床看護師のための研究フィールドを創ることでした。そこで臨床看護師の皆さんと看護活動をともに実践するためには体力が必要であり、そのためにはまだ体力が残っているうちに活動を開始せねばと考えた次第です。

さて、定年前に筑波大学を去ることは大変残念でしたが、臨床看護職の皆さんと本格的な実践活動を開始するにあたりまず考えたことは、少し休暇をとって心身をリフレッシュすることが必要との結論に至りました。とりあえず環境を一変させてみるのも面白いと考え、学会参加以外に海外へは出かけたことがなかったので、3か月ほどいくつかの国々をのんびりと巡ってみました。もともと旅行よりは家でゴロゴロしていた方であったので、風光明媚な観光地はほとんど記憶にとどまらず、大自然と人造物の取り合わせの妙というのでしょうか、ガラパゴス諸島を訪れたこととパナマ運河の通過が一番印象に残りました。

ガラパゴス諸島に行くことにはかなりの迷いがありました。やたらと人間が入ってはいけない所であることは十分承知してはいたのですが、かの国の状況を見れば数年以内に世界遺産を返戻して観光地化されるか、貴重な生態系の保護のために完全に入島を禁止されるかのどちらかだろうと考え、顰蹙を買うことを承

知で5日間のクルーズに参加しました。入島前夜には2時間のレクチャーを受けることが義務づけられており、現地では国立自然保護官の後に続いて決められた細い道を1列に並んで歩かなければなりません。また、周辺の草木・小石に至るまで、手を触れたり持参の小物を置くことが禁じられていました。諸動物の子どもに人間の臭いが付着すると、親が子育てを放棄するという理由からでした。進化論で有名なダーウインの名を冠した研究所は、意外なほど質素な佇まいで、環境に適応して進化したカメがそれぞれの島から集められ飼育されていました。ダーウインがこの島から連れ帰ったカメが2006年に死亡したという話には、カメが長寿の代表にたとえられるのも根拠があったのかと興味深かく納得した次第です。パナマ運河は、太平洋と大西洋間の20数メートルの水位差を3つの水門の開閉を繰り返し、ほぼ1日をかけて通過しました。

さて、全国の看護職と意識障害に関する臨床実践活動が本格化したころ、前静岡県立大学学長から、大学院の教育・研究指導のみでよいからという条件でお話をいただき、2009年1月から看護学研究科に身を置くことになりました。静岡県立大学は県立美術館と県立図書館に隣接した文教地区であるためか、キャンパスの手入れが行き届き、ゴミ一つ落ちていない構内には驚きを禁じえません。また道一つ横切ると折々に開催される芸術展を鑑賞できる楽しみがあり、条件さえ揃えば自宅・大学の会議室、勿論街のどこからでも富士山が臨めるのは嬉しい限りです。

専門の意識障害の看護活動の方は、スタンダードプログラムを導入・実践する病院が10施設以上になり、いずれのチームも大きな成果をあげるようになりました。最近の事例では10年間意識障害が持続したまま家族の介助を受けていた30代の女性が、6週間の入院で集中看護を受けた結果、意思疎通が可能になり、電動車いすのレバー操作を自分でできるようになりました。こうした経験から、意識障害と評価されてきた患者さんにも変化の可能性が潜んでおり、変化を起こすための適切な援助と機会が与えられるべきだと思います。これまでに全国では50人程度の患者さんたちに変化が確認されています。ところが、現行の医療制度のもとでは誰もがこうした看護を受けられるわけではありません。看護技術が正当な経済評価を受けるための診療報酬が認められていないためです。そこで、こうした活動を制度化するために、これらをリードする認定看護師の教育を開始したので、また少し責任が重くなりました。

現在このような活動と研究を円滑に進められるほとんどの基盤は筑波大学で築かれたもので、まことに感謝に堪えません。

今年こそ、会に参加させていただき往時の思い出話に花を咲かせつつ、お礼を述べたく、皆様にお会いするのを楽しみにしています。

(平成20年度 名誉教授 看護科学系)

新入会員から

工藤 典雄 (基礎医学系・理事)

名誉教授の末席に居心地よく場を占めています。昔、恩師の脳科学者の時実利彦先生から、人には食欲、性欲、集団欲を満たそうとする本能があると教わったことを思い出しています。それぞれ、個体、種、種族の保持のための脳の機能ですが、食欲と性欲は、肉体年齢と共に衰退します。ただ、仲間づくりだけは、その気になればいつまでも感じるこの頃です。

佐藤 俊 (歴史・人類学系)

筑波大学には約23年間勤務しました。流れる水は腐らず、という言葉大切にしてきた私としては、長居してしまいました。この間、アフリカ遊牧社会を人類学の観点から研究し、その成果を学生にも提供してきました。学生の多くは多種多様な職業に就いて、次代を担う有望な社会人として活躍しているようで、やりがいがあったと、自負しています。現在は、京都の岩倉に小さな庵を構えて、旧友たちと気楽な日々を過ごしています。

小野澤 正喜 (歴史・人類学系)

筑波大学には26年間お世話になり平成20年3月に退職致しました。引き続き2年間、本部国際付き特任教授として「グローバル30」関連のお手伝いをさせて頂きました。

現在、高崎にある育英短期大学の方で教務部長として4年制大学化の作業に取り組んでおります。筑波大学で学んだことを地方の私学の活性化に生かしていきたいと思っております。その中で改めて新構想大学として筑波大学が果たしてきた役割の大きさを実感しております。

西村 よしみ (文芸・言語学系)

筑波大学には22年間、留学生センターを中心に日本語教育に携わっておりました。

現在は、国際総合学類のアジアeラーニングプロジェクトのメンバーとして、moodleを使った日本語教育コンテンツの開発をしています。

退職した今も、「教えること・学ぶこと」について問い直す時間が持てることに感謝しております。

日常では、庭の草むしりを日課として、30分から1時間座り込んでいます。

私の好敵手は「かたばみ」で、じっくり根を探りながら、長い根っこを引いた時は、何とも言えない快感です。「華は愛惜にちり、草は棄嫌におふるのみなり」と思いながら草を引いております。

新井 邦二郎 (心理学系)

大学院の博士課程に指導学生を残しての定年は心残りでありましたが、学生から学位論文を提出したとか、就職が内定したなどの知らせをもらうたびに肩の荷が少しずつ軽くなる思いをしています。現在、東京成徳大学の大学院(王子駅徒歩10分)にて、修士・博士課程の心理学研究科長をしています。筑波在職中の心理学研究科長や心理学系長の経験を生かすことができ喜んでます。また職場では先輩の國分康孝先生(心理学系)、市村操一先生(体育学系)や海保博之先生(心理学系)に助けられています。

柳本 雄次 (障害科学系)

附属桐が丘養護学校の教員から始まり附属大塚特別支援学校長の併任で終わった筑波大学の在職時、一貫して障害児教育学の研究に携わることができました。専攻分野の研究環境が充実したなかで学生や附属教員と共同研究を進め、充実した毎日でした。現在は、西の窓から富士山が眺められる所沢に移り、十文字学園女子大で新設される特別支援教育センターの事業準備に追われています。今後ともよろしく願いいたします。

佐藤 亮 (社会工学系)

1989年から2009年度まで社会工学系社会工学類にてお世話になりました。自転車通勤で松代の宿舎から大学まで30分のサイクリングをしていたころには、田園風景の四季の移り変わりを感じる事が新鮮で、毎年、春や秋から冬でも楽しみました。夏は暑かったです。田んぼが減反や宅地利用されて姿を変え続けており、日本社会が知識社会・サービス経済へ変貌するさまを実感しました。

金井 幸雄（農林学系）

元気で定年を迎え、名誉教授の一員に加えていただけたことに感謝しております。定年後は、本学教育推進部の特任教授（非常勤）として教養教育や新しくスタートした学群英語プログラムの全学調整等の仕事に従事する機会をいただきました。思い通りの貢献はできていませんが、今少しの間、本学が目指す国際化のお手伝いができることに喜びを感じています。また、在職中に手掛けた農学系学部生のための「全国大学対抗ミートジャッジング競技会」が軌道に乗り、食肉産業界と学生との交流の場ができました。本学発の教育資産の一つとして、この競技会を現役の先生・学生さんに活用して欲しいと思っています。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

竹内 光弘（数学系）

定年退職してからまだ半年あまり。在職中のことははるか忘却のかなたにかすんでしまいました。ただ大学のあるべき姿には今も強い関心があります。今の大学は、商業化と情報化の影響を受け、産業界との結びつきの強化などナショナリズムの傾向が顕著です。数学のように商業と無縁で、国境のない学問をしてきた者には大きな違和感があります。学問というのはちっぽけな国家を超えたもっと人類普遍の真理を探究するものだと思うのですが・・・

田中 正（地球科学系）

名誉教授の一員に加えていただき、光栄に存じております。東京教育大学と筑波大学を合わせ、37年間にわたってお世話になりました。この間、「水文科学」を研究する機会に恵まれ、定年1年前に研究室の仲間と出版した教科書『水文科学』が水関連学会の学術出版賞を受賞し得たのも、筑波大学で研究・教育に携わった賜物と感謝しております。退職後、翌4月から本学北京事務所の運営管理者を拝命しました。筑波大学の国際化に微力を尽くせればと思っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

松倉 公憲（地球科学系）

筑波大学には34年間お世話になりました。その間、「地形学」の研究・教育に専念させていただきましたことは私にとって幸いでした。お世話になった方々に、あらためて深く感謝申し上げます。定年後は二、三の私大で非常勤講師をしながら生活しております。これからも「地球科学」とくに「地形学」の進歩のために微力を尽くしたいと思っております。今後ともよろしくご指導をお願いいたします。

工藤 博（理工学系）

筑波大学には33年間勤務し、応用原子物理学の実験研究と理工学教育に携わってきました。退任後は、基礎物理テキストの執筆・監修に加え、本学の非常勤研究員として静電加速器施設の外部ユーザーに対する物質分析などの技術支援に関わっています。これには、つくば学園地域の研究機関との連携広報活動等も含まれます。私の専門知識と経験、さらには人のつながりを生かしつつ、やりがいあるこの教育・研究サポートという仕事をしばらく続ける予定です。

大嶋 建一（理工学系・物質工学系）

私は昨年4月から、さまざまな会議への出席から開放され、血圧が10ポイント以上下がり、ストレスの少ない生活を過ごしています。しかし、筑波大学との関係はフリーとはならず、応用理工学系の非常勤講師として、ベクトル解析、原子分子論および技術者倫理の授業を担当しています。また、学務課を主体とした高大教育連携事業実施のシニア・アドバイザーとして、大学の社会貢献に微力ながらお手伝いしています。

ここで、先輩の先生方にお願ひがあります。現在の日本を取り巻く環境は非常に厳しく、あらゆる面で、近隣の国々に追い上げられています。教育の分野でも例外ではありません。このような状況を少しでも改善するために、筑波大学では次のような事業を本年4月より実施する予定です。具体的には、長年にわたり、教育・研究にご尽力なされた経験をお持ちの先生方にシニア・プロフェッサーとして就任していただき、これからの日本を支える中学生、高校生、大学生を中心とした若者に対して、出前講義、模擬講義、学内案内等を実施していただくことです。先生方には彼ら・彼女らに直接、学ぶ楽しさ・面白さを語りかけていただき、さらには将来の職業選択の力添えをしていただければ幸いです。なお、雇用形態はボランティアとして働いていただくために、先生方のご都合のよろしい時間に、本事業の実施に協力していただければと思ひます。

この事業を円滑に運営するためには、一人でも多くの先生方に登録していただき、大学内外にて、活躍していただくことが必要です。ご協力していただける先生は以下に連絡していただければ、私から詳細な情報をお送りします。

今後よろしく御願ひいたします。

e-mail address: ohshima@bk.tsukuba.ac.jp

tel & fax: (029)853-5300

井上 哲郎（構造工学系）

このたび名誉教授の一員に加えていただき有難うございます。昭和55年8月から筑波大学に赴任し、およそ29年間勤務させていただきました。大学生の頃は建築学科の学生でしたので数学は教養課程だけで習うものでしたが、筑波大学にきて数学を講義しなくてはならないというので多少めんどくりました。その講義は回り持ちでしたので、結局すべての数学科目を勉強しながら講義しました。研究は退職時まで完成するつもりでしたが、まだ国内で書いた論文「円形鋼管短柱の像の足座屈に及ぼす塑性流れの果たす役割に関する研究」を国際誌に載せる課題が残っておりまして、急がずに楽しみながら挑戦しようと思っております。今後ともよろしく御願ひいたします。

西原 清一（電子・情報工学系）

平成21年3月に退職しました。前任の大学を含めると41年間も大学に籍を置いたこととなります。退職一日目、平成21年4月1日の朝、もう何も私を束縛するものがなくなったことを意識したとき、言い知れない開放感を覚えました。あまり良い教育者ではないと思っていた私でしたが、やはり学生に対する責任感をいくらか感じていたのかもしれませんが。私の友達に、退職したとき、今の奥さんに昔初めて出会った時のような気分がしたという人がいます。私も、何も持っていないのにまだ形を成さないあこがれだけが溢れていた若い頃を痛いような気持ちで思い出しています。

どうぞよろしく御願ひ致します。

北脇 信彦（電子・情報工学系）

筑波大学には1997年8月からお世話になりました。音声通信工学が専門ですが、縁あって主として国際総合学類、副として情報学類を担当することになり、文系理系の多くの先生方の警咳に接することができたのはたいへん幸せでした。今は特任教授として、定年前に関わっていたe-ラーニングやグローバル30事業をさらに発展させ、教育の情報化や国際化に貢献したいと考えています。

河野 一郎（体育科学系）

筑波大学には、約33年間お世話になりました。現在は、特任教授としてスポーツに関わる研究開発の推進をサポートしております。在職中は、スポーツ医学を研究領域としつつ、オリンピック日本代表選手団役員、ラグビーの強化委員長、オリンピック招致委員会事務総長など多岐にわたる活動をさせていただきました。これらの経験を生かして、微力ですが大学の発展にお役に立てればと思ひます。今後ともよろしく御願ひいたします。

会員の近況等

赤羽 武 (H10 農林学系)

歳相当に体力は劣化して来ましたが、今のところ元気です。ご盛會を心から祈念いたします。

浅田 隆夫 (H3 体育科学系)

家庭の事情で欠席させていただきます。ご参加の皆さんに宜しくお伝え下さい。

浅野 侑三 (H18 物理工学系)

松江で翻訳をしたり、子供達に数学や英語を教えたり、市民オーケストラでヴィオラを弾いたり元気で生活を楽しんでおります。

浅見 高明 (H12 体育科学系)

無趣味、無気力、仕事は女房の自家用運転手、体力低下著しく、毎日ゴロゴロ寝ているだけ、その為、皆さんにお元気ですねと云われ複雑な心境です。

安達 勤 (H7 構造工学系)

元気です。当日出席したいと思います。例年感じて居りますが、案内はもっと早くお願いしたいと思います。

厚見 博 (H6 社会工学系)

家庭菜園に精出して、食味の良い野菜作りに頑張っております。論文も書いております。

安仁屋 正武 (H20 地球科学系)

今年度、新規の科研が採択され、当分の間、パタゴニア氷河の研究が続けられます。

阿部 英一 (H3 数学系)

足が不自由なので、ほとんど外出できなくなりました。

天野 正治 (H11 教育学系)

日・独の国際理解教育の比較研究を少しずつ纏めています。

新井 邦二郎 (H22 心理学系)

東京成徳大学大学院研究科長として勤めております。

新井 敏弘 (H7 物理工学系)

毎日特別な仕事をする事もなく、静かに日々を送っております。

新井 勇治 (H6 応用生物化学系)

脊柱管狭窄症による足痛も少しずつ快方に向かっているようです。毎日1時間の散歩を心掛けています。墨彩画も懲りずに続けていますが、進歩は？(本年、佳作賞を受賞)。幹事、ご苦労様です。感謝しております。

安藤 正士 (H10 歴史・人類学系)

御連絡ありがとうございます。当日出席できません。皆様によろしくお伝えください。

井門 富二夫 (S63 哲学・思想学系)

学術的、社会的状況と共にカリキュラム組織の改変は当然ですが、そのことを直接お尋ねしたいと思いつつも、体力もなく、欠席が残念です。

五十嵐 治也 (H3 芸術学系)

至極元気に、山形県エクセレントデザイン塾の塾長など務めています。

池田 三郎 (H16 社会工学)

(独)防災科学技術研究所の非常勤の客員研究員として、時折つくば市に出向いて、細々とではあります。災害リスクの研究を続けています。

池田 長生 (H元 化学系)

元気に過ごしております。今回は当日他に予定がありますので、欠席させていただきます。御盛會をお祈り申し上げます。

池辺 八洲彦 (H10 電子・情報工学系)

円高で資産運用が難しい。といっても池辺個人の話ではなく役員をしている財団の話ですが……。マイペースで暮らす毎日です。

石井 武夫 (H16 芸術学系)

H23年3月迄、大阪芸大にて学科長、教授として勤務しており欠席が多く申し訳ありません。

石井 英也 (H20 歴史・人類学系)

いつものことですが、欠席とさせていただきます。盛會をお祈りしております。当方、お陰様にて元気に生活しております。

石川 徹也 (H18 図書館情報学系)

東京大学史料編纂所において、資料のデジタル化・検索方式の研究を進めています。

石塚 皓造 (H8 応用生物科学系)

いつもご連絡ありがとうございます。大学の変華の様子が伺い知れて、慶賀の至りです。

石部 元雄 (H5 心身障害学系)

いちおう元気に過ごしています。

板垣 了平 (H5 体育科学系)

体調不良で療養中です。

板橋 秀一 (H17 電子・情報工学)

相変わらず国立情報学研究所(東京)と産業技術総合研究所(つくば)にお世話になっています。

稲垣 泰一 (H20 文芸・言語学系)

本年(平成22年)4月1日付で、文教大学文学部教授として再就職しました。健康に留意しつつ頑張っています。

井上 勝也 (H17 心理学系)

ご盛會をお祈り致します。

井上 修一 (H16 文芸・言語学系)

4月から悠々自適の生活を送っています。

伊與田 康雄 (H15 体育科学系)

ラグビー部OB会長として苦戦しています。すこぶる元気で、週3回ほどトレーニングジムで汗を流しています。

岩崎 庸男 (H16 副学長)

病氣療養中につき、欠席いたします。ご盛會をお祈りいたします。

岩堀 修一 (H14 農林学系)

お陰様で元気に過ごしており、ハイキングなど楽しんでおります。なお、来年度からは餅田治之名誉教授に交代致します。ご本人の内諾を得ております。よろしくお祈り致します。

植 寛素 (H18 物質工学系)

研究室OBの活躍を知るのを楽しみにして居ります。

上田 清基 (S59 応用生物化学系)

元気に暮らしています。都合が悪く、欠席いたします。

上野 賢一 (H3 臨床医学系)

療養中のため失礼いたします。御盛會を祈ります。

碓氷 尊 (H4 社会工学系)

星槎大学での勤めを何とか続けております。生憎の大阪出張講義に出る日で、出席できません。残念です。

内須川 洸 (H3 心身障害学系)

体調を崩し、現在休養中。

内山 三郎 (H6 数学系)

2010年春の叙勲として瑞宝中綬章を拝受いたしました。名誉教授の会からは御丁寧な祝電を頂き誠に有難うございました。齡中寿に達し日々の衰えを託って居ります。

内山 知也 (H6 文芸・言語学系)

上海復旦大学出版局より小生の学位論文『隋唐小説研究』の中国語訳版が刊行されましたので喜んでおります。

江崎 玲於奈 (H10 学長)

海外出張中のため残念ながら出席できません。皆様によろしくお伝え下さい。

及川 武久 (H18 生物科学系)

他の行事と重なり出席できません。

大川原 潔 (H2 心身障害学系)

高齢化に備えた生活環境と利便性を考え住居を移りました。

大木 昭一郎 (H6 体育科学系)

先約があり欠席します。

大島 祐之 (H3 臨床医学系)

今年2月、顔が赤くなり近くの聖路加病院で受診した所、皮膚科で「丹毒」と診断され緊急入院、1週間抗生剤の点滴を受け寝たきりでしたら、退院後、歩行覚束ない状態になり、区役所から杖を支給されよちよち歩いている有様です。11月11日、近所に買物に行った帰途、エスカレーターで転んで多発外傷の診断で入院中です。皆様くれぐれも注意の程を……

太田 敏子 (H20 基礎医学系)

JAXAにて大学と機構の橋渡しをしております。

太田 信夫 (H6 心理学系)

現在、学習院大学に勤務しております。

太田 道男 (H14 機能工学系)

仕事も期限がないと遅々として進みませんが、そろそろ退職後10年になるので、レポートをまとめねばと思っている次第です。

大塚 和弘 (H12 物質工学系)

元気に過ごしています。残念ですが当日予定が入っていて出席できません。

大友 賢二 (H8 現代語・現代文化学系)

日本語テスト学会名誉会長の仕事で、相変わらず多忙です。

大西 寛 (H4 化学系)

書齋にある雑誌や本の始末をどうしたら良いか、思い悩んでいます。

大貫 稔 (H3 社会医学系)

まだ、常勤医の仕事をしており金曜日の昼間は出席できません。御盛會を祈ります。

大庭 喜八郎 (H8 農林学系)

居所を変えました。どうぞよろしくお願い致します。

岡田 明 (H5 心身障害学系)

国勢調査員をしました。大変でした。国会図書館に拙著17冊が入ってございました(単13冊、共4冊)。

岡田 益吉 (H7 生物科学系)

妻が緊急手術を受け毎日病院(筑波大学病院)に通っています。

岡本 敬二 (H3 歴史・人類学系)

静養中。

小川 泰 (H12 物理工学系)

研究活動を(それなりに)続けています。当日は所用があり欠席します。

小島 弘道 (H19 教育学系)

入試関係の仕事で、残念ながら出席できません。ご盛會をお祈りいたします。

小野澤 正喜 (H20 歴史・人類学系)

新入会させていただきました。よろしくお願い致します。

小野寺 夏生 (H21 図書館情報学系)

非常勤の勤務や学会の役員職をやりながら細々と個人的な研究も続けております。当日、所用があり欠席致します。

角井 博 (H14 芸術学系)

御案内状を有難く拝掌、現在、月2回ふくやま美術館に勤務。折角の機乍ら他出につき失礼させていただきます。ご盛會を祈急しつつ、ご返事まで。

梶原 良道 (H16 地球科学系)

晴耕雨読の毎日です。当日は旅行予定のため欠席します。ご盛會をお祈りします。

片岡 廣 (H7 応用生物化学系)

年相応に元気に過ごしております。ご案内を頂きありがとうございます。

門脇 厚司 (H16 教育学系)

2010年10月1日付で、美浦村教育長に就任しました。70歳からの宮仕えです。

金子 明友 (H4 体育科学系)

皆様によろしくお伝えください。何とか恙なく過ごしております。

金子 隆芳 (H4 心理学系)

今のところ身辺特に申しあげるべき異変なく過ごしております。

加納 克己 (H16 社会医学系)

週4日、和洋女子大学大学院に勤務しています。お蔭様で元気です。

亀淵 迪 (H3 物理学系)

年並みには元気にやっております。

河上 正秀 (H19 哲学・思想学系)

2009年4月より放送大学客員教授。皆様によろしく……。

川口 千代 (H12 体育科学系)

本年3月を以て、京都女子大学を退職いたしました。8年間の私立大勤務でした。東京都立大、教育大・筑波大、千葉大と経ての初めての女子大でした。これで通算49年8か月の大学勤務となりました。ようやく自分の時間が持てる様になりましたが、後始末に戸惑っております。

河嶋 拓治 (H11 化学系)

2003年に左腎臓をガンのため切除、その後リンパ節や肺に再三再四にわたり転移、その間、抗癌剤を使用しました。2007年に右肺を3分の1ほど切除して、現在元気に過ごしております。

川手 昭二 (H6 社会工学)

湖北ニュータウン研究会を主催し、横浜国大、東海大、その他数校の卒研・修論の学生と勉強しています。

北原 保雄 (H16 学長)

大学評価の訪問調査(大阪)とぶつかり、またまた欠席せざるを得ません。元気にやっています。

草薙 裕 (H11 文芸・言語学系)

現在、台湾に滞在中なので失礼します。

糸野 豊 (H6 体育科学系)

高齢のため、病院通いが多くなりました。

黒田 誼 (H18 社会工学系)

出席したいのですが、11/12(金)には授業が入っております。皆様に宜しくお伝え下さい。

桑原 隆 (H20 教育学系)

御案内ありがとうございます。当日、残念ながら出席できません。

桑原 敏明 (H14 教育学系)

先約あり、欠席させていただきます。週1で筑波大院生研究会に参加しています。

小磯 謙吉 (H7 臨床医学系)

腰椎間板ヘルニアのため失礼いたします。御盛會を祈ります。

河野 博忠 (H8 社会工学系)

財団法人日本学術協力財団の評議員を拝命しています。

腰塚 武志 (H21 理事)

申し訳ありませんが、講義中の時間ですので欠席致します。

小寺 武康 (H6 物理学系)

肝臓癌で半死半生?って所です。

小中 俊雄 (H9 農林工学系)

相変わらずの散歩と囲碁。

小林 一敏 (H6 体育科学系)

体力・気力の保持・向上に毎日努力しています。国際武道大学非常勤講師を平成21年3月に退職(79才)しました。現在は、継続中の会社技術顧問の研究ならびにJSEA機関誌スポーツ工学からの依頼の解説論文を執筆中です。

小林 学 (H6 附属学校教育局)

先約がありますので、欠席させていただきます。何とか健康を保って生活をしています。

小町 喜男 (H2 社会医学系)

ご盛會をお祈りします。元気でおります。

西藤 宏司 (H13 体育科学系)

誠に申し訳ございません。人並の健康維持させております。少々、脚力の衰退!!

佐伯 聡夫 (H18 体育科学系)

授業につき、参加できません。元気です。

坂本 直人 (H14 電子・情報工学系)

年金生活も2年目となり、気楽に毎日を過ごしております。

佐々木 俊介 (H11 教育学系)

ご連絡ありがとうございます。あまり変わりばえのしない毎日を送っております。いろいろのことに対する意欲が失われていくことを警戒しないといけないと思っております。

佐々木 博 (H10 地球科学系)

膜性腎症・糖尿病・アレルギー性喘息をもちながら、アメリカ西岸のStanford、UC Berkeleyを見学。A.R.フンボルトが南米旅行時寄ったテネリフェ島へのクルーズ再アタック。

佐藤 一雄 (H14 社会科学系)

この頃は、海外旅行等を楽しんでおります。

佐藤 俊 (H22 歴史・人類学系)

自宅の住所が変わりました。

佐藤 昭二 (H3 農林学系)

総会及び懇親会開催の通知をいただき大変有難うございます。都合悪く欠席させていただきます。

佐藤 正 (H3 地球科学系)

ご盛會を祈ります。

佐藤 守弘 (H10 社会科学系)

相変わらずに常盤大学に勤務していますが、筑波大出身の若い同僚と筑波時代の話をして懐かしんでいます。

品川 芳宣 (H17 社会科学系)

「名誉教授」になって6年目を迎えていますが、未だ現職で頑張っています。皆様方の御健勝をお祈り致します。

司馬 正次 (H18 社会科学系)

日本とインドとの共同国家プロジェクトで働いています。製造業経営幹部育成プロジェクト(VLFM)です。つぎに続く若者が、日本人よりもインド人に続々と現れてきています。

渋谷 達明 (H6 生物科学系)

ご案内いただき有難うございました。だいぶ年を重ねましたが、何とか元気にはしております。申し訳ありませんが今回は欠席させていただきます。

嶋田 厚 (H5 哲学・思想学系)

どうぞ皆様に宜しく……。あまり人様の迷惑にならずに暮らしております。

嶋本 喬 (H14 社会医学系)

自身の健康管理が少し厄介な状況の上、老母(95才)の面倒見という老老介護に追われております。御盛會を祈ります。

下條 信弘 (H15 社会医学系)

本年度の3月末日をもって、日本薬科大学を停年退職を致しました。

下山 眞司 (H12 芸術学系)

変わりありません。

城生 佰太郎 (H21 文芸・言語学系)

文教大学文学部教授として元気に過ごしております。

庄司 進一 (H17 臨床医学系)

地域医療に生きがいを感じています。

庄子 良男 (H18 社会科学系)

駿河台大学法科大学院で学生指導と商法の研究を続けております。筑波大学で研究に励んだ日々を想起して、筑波大学の増々の発展をお祈りいたします。

白山 和久 (S63 構造工学系)

思いがけないことが次々と起こり、なかなか時間がありませんので失礼します。

杉田 豊 (H6 芸術学系)

COPD で酸素を携帯して外出です。しかし、少しずつ作品を制作しております。

杉田 良樹 (H7 基礎医学系)

元気で過ごしています。

鈴木 隆久 (H18 応用生物化学系)

趣味の植物写真を撮っています。今のところ健康を保っています。

鈴木 哲郎 (H7 物理学系)

何よりも、諸先生方の御健勝をお祈り申し上げます。私は歩くのに多少不便を感じるようになりましたので、駅のすぐ近くに引越しました。

鈴木 恕 (H3 生物科学系)

会長はじめ諸賢のご健勝を祈念いたします。当方、相変わらぬ暮らしを送っております。

鈴木 光剛 (H7 農林工学系)

何とか、元気に過ごしております。

関 文威 (H13 生物科学系)

日本海洋学会の名誉会員に選出されました。

関岡 康雄 (H11 体育科学系)

学生陸上界の用務で、今回も欠席いたします。

副田 義也 (H10 社会科学系)

研究一筋、元気にやっています。

園部 榮壽 (H6 構造工学系)

週に2回程、飯田橋にある園部建築事務所に散歩がてら顔を出し、技術上の相談にのったりしています。時々、卒業生から連絡があったりしています。

高倉 翔 (H8 教育学系)

日本高等教育評価機構で、私立大学を中心とする「認証評価」の仕事を続けております。今年度は、「第一サイクル」(7年間)の最終年度ですので、90大学を対象に多忙な生活をしております。

高田 誠 (H18 文芸・言語学系)

おかげさまで、平穏無事に暮らしております。

高野 清純 (H6 心理学系)

10月に80歳を迎えましたが、おかげさまで元気に暮らしております。

高野 文彦 (H元 物理学系)

体のあちこちにトラブルがあるようですが、余り気にしないようにしています。

高橋 彬 (H6 体育科学系)

現在は、宇都宮にある文星芸術大学の非常勤講師を行っています。

高橋 馨郎 (H3 社会工学系)

身体は元気ですが、弦楽合奏や公民館の役員などで結構忙しく暮らしています。

高橋 伍郎 (H13 体育科学系)

水泳、スキー等、相変わらずのスポーツ三昧です。

高橋 穰二 (H3 応用生物化学系)

体調は、あまり良くなく、通院と雑用で時間だけが過ぎていきます。

高橋 恒郎 (H9 数学系)

只今、入院中のため残念ながら欠席いたします。

高松 薫 (H19 体育科学系)

流通経済大学スポーツ健康科学部に勤めています。本年4月にスポーツ科学研究科を開設し、研究科長を務めています。

高山 正喜久 (H3 芸術学系)

一応事故なく生活しております。皆様方の健康のことお祈り申し上げます。

瀧田 宏樹 (H19 理事)

週1回のテニスで体調を維持しながら、たまには院生らとソフトボールもしています。研究室セミナーやつくばで開かれるコンファレンスにも顔を出し、つくばの恵まれた環境を楽しんでいます。

瀧野 慶則 (S54 応用生物化学系)

高齢となり定期的に通院し、体調不良の克服に努めており、残念ながら欠席させていただきます。

竹宮 隆 (H10 体育科学系)

病氣静養中で失礼します。

竹村 牧男 (H14 哲学・思想学系)

つくばから、ほぼ毎日、文京区白山の東洋大学に通っています。

辰野 千壽 (S53 心理学系)

相変わらず元気で財団の教育研究所で仕事をしています。

田中 正 (H22 地球科学系)

新入会員として、よろしく願いいたします。

田中 秀夫 (H18 応用生物化学系)

現在、聖徳大学教授。会の成功をお祈りしています。

田仲 可昌 (H17 生物科学系)

大学基金が創設されたことをうれしく思っています。基金の発展をお祈りいたします。

谷川 彰英 (H21 理事)

筑波大学出版会編集長(特任教授)を務めております。

谷村 秀彦 (H14 社会工学系)

元気しております。

田沼 睦 (H9 歴史・人類学系)

坐骨神経痛など体調やや不良ですが、「大宮郷土史研究会」や「けやき（埼玉県の県木）古文書会」などに参加させていただいております。

田村 昇 (H6 基礎医学系)

診療、内外の旅、ゴルフ、釣り、いろいろ楽しみながら生きています。でも、だんだんと、あちこちに障害（思うようにはいかない）が出てきています。年齢ですな！

土本 武司 (H10 社会医学系)

大阪地検特捜部による信じ難い不祥事が発生し、同部幹部検事を最高検が逮捕して取調べするという前代未聞の事態。対応に四苦八苦しております。

土屋 滋 (H11 社会医学系)

ちょっと体調を崩しておりましたが、恐らく出席できると思います。楽しみにしております。

津曲 裕次 (H10 心身障害学系)

長崎純心大学大学院人間文化研究科で大学院生の教育と研究に従事しております。御盛會を祈ります。

寺野 隆雄 (H21 社会工学系)

東工大知能システム科学専攻に勤務しております。

土井 正幸 (H22 社会工学系)

定年まで少し年数を残して筑波大学を出、別の国立大学に異動しました。この日は、出張のため、欠席させていただきます。よろしく願いたします。

徳丸 克己 (H6 化学系)

まずは元気しております。前日から学会の討論会に参加し、講演をお引き受けしておりますため、失礼させていただきます。なお、筑波大キャンパスには、最も最近では、8月末に化学会の支部大会の折に寄り、大学会館での懇談会にも参加いたしました。

内藤 豊 (H6 生物科学系)

なんとか元気でやっております。

永井 純 (H19 体育科学系)

やっと完成年度を迎えます環太平洋大学で副学長を努めております。スポーツが盛んでそろそろ大学日本一が出始めました。

永岡 順 (H2 教育学系)

おかげさまで元気でおります。皆様のご健勝をお祈りいたします。このごろ遠くまで出かけにくくなっていますので、お許してください。

中川 一彦 (H16 体育科学系)

誕生日、岩木山に登ってきました。元気です。

中島 光廣 (H5 体育科学系)

高師、教育大体育OB・OGの「茗体会」や学都資金財団の運営に努めています。町会会長も2期です。

中田 育男 (H10 電子・情報工学系)

情報学類出身のまつもとゆきひろ君が開発し、世界的に使われるようになっているプログラミング言語Rubyの国際標準規格作成のお手伝いをしております。

永田 治樹 (H21 図書館情報学系)

退職後2年目となり、ルーチンがたまりました。来年は、また少し工夫しようと考えています。

中村 以正 (H6 応用生物化学系)

昨年患った悪性リンパ腫の影響か、突然体調をくずすことがあり失礼しています。孫が今春から国際総合学類にお世話になっています。

中村 紀一 (H17 社会科学系)

つくば市の「事業仕分け」の手伝いなどしています。

中村 正年 (S61 物理学系)

それ程元気良くはありませんが、年並みの健康を保って何とか生きています。

名取 研二 (H21 電子・情報工学系)

退職して一年半、けっこう忙しいのですが、やりたいことがやれているとはなかなかいかないものです。

成合 英樹 (H14 機能工学系)

昨年3月に5年半勤めた（独）原子力安全基盤機構の理事長を退任し、その後1年の特別顧問も本年3月に終わりました。現在、東京へ週2日程度通う毎日です。

成田 十次郎 (H8 体育科学系)

郷里の土佐と東京を行ったり、帰ったり、元気で毎日を過ごしています。

鳴島 甫 (H19 文芸・言語学系)

元気にやっております。

西澤 龍生 (H4 歴史・人類学系)

数日前、訳書（「ブダベストのミダース王」）論創社、著書（「ミダース王」）清水書院をほぼ同時に公刊しました。

西村 仁嗣 (H17 機能工学系)

元気で温和しくしています。

根本 承次郎 (H19 電子・情報工学系)

平穏な毎日です。詰将棋問題を解いたり作ったりのほか、週一回、東京の書道教室へ通って作品制作の指導を受けています。

橋本 達一郎 (S63 基礎医学系)

療養10年、デイサービスを利用したり、車椅子での散歩ですが元気に過ごしております。

長谷川 宏司 (H19 応用生物化学系)

日々研究・執筆等で多忙ですが、極めて楽しく過ごして居ります。

長谷川 栄 (H8 教育学系)

学会の事典づくりの手伝いをしながら、悪くない生活を送っています。

長谷川 文夫 (H16 物理工学系)

昨年春の筑波大での応物の招待講演をきっかけに、今年は3月に電子情報通信学会の研究会、5月に結晶成長学会、11月4、5日と東北大多元研、11月27日に応物九州支部講演会でGaN HFET（窒化ガリウム系ヘテロ接合電界効果トランジスタ）について話すことになっています。

濱口 秀夫 (H16 副学長)

土浦市にあるつくば国際大学に常勤として勤めています。

濱口 秀夫 (H15 基礎医学系)

私学の教員を続けています。しかし、講義に「代名詞」の使用が頻回となり、「それ、その細言が原因でその病気になるので、このような注意が肝心」では何のことやら。そろそろ引退の時期だと自覚をしています。

原口 庄輔 (H12 現代語・現代文化学系)

毎日忙しく、元気でやっています。

深尾 立 (H20 臨床医学系)

千葉労災病院院長9年目です。看護師不足に悩まされています。

福原 祐三 (H19 体育科学系)

闘病生活を送っています。

藤伊 正 (H8 生物科学系)

体調不良の為、入院加療中です。

藤田 統 (H3 心理学系)

海外・国内の旅を楽しみながら、元気に暮らしております。

古川 尚道 (H12 化学系)

所属財団(国際科振興財団)の公益法人化に向けて努力しています。

古野 興平 (H15 物理工学系)

妻が病弱のため、専業主夫の毎日です。

星野 靖雄 (H19 社会工学系)

科研費助成で英文学術論文2本を掲載し、筑波大学の名前を知らした。近況の詳細は、ホームページを参照。<http://leo.aichi-u.ac.jp/~hoshino/>あるいはサーチエンジンで“星野靖雄”を検索。

細川 淳一 (H10 体育科学系)

ご無沙汰しておりますが元気で頑張っています。現在、次の仕事に携わっています。

- ・国際食品機能学会会長
- ・国際統合医学会顧問
- ・国づくり人づくり財団学術顧問
- ・天津職工医科大学客員教授

細見 彰 (H17 化学系)

2、3の大学や公的機関からの頼まれ仕事や現役時代には、不可能だった家業をしながらゆったりとゆっくりとしたペースで毎日を過ごしております。

堀 和郎 (H21 教育学系)

筑波大学とは異なる教育環境の中で、とまどい、反省しながらの日々を過ごしています。

堀 洋道 (H13 心理学系)

大学の勤めは終わりました。同窓会(心友会)のお手伝いや研究会のほか、ゴルフや家族の手伝いなど忙しい毎日です。

本間 琢也 (H5 構造工学系)

現在は、スマートグリッド関連の技術、動向に興味があり、環境技術学会で解説することになりました。

本村 幸子 (H14 臨床医学系)

週3日、眼科医として仕事を続けています。

松浦 克昌 (H16 図書館情報学系)

最近“kmacchamのメカトロダイナミクス関連研究の後片付け”と題してブログを書いています。本年1月から始め、月数回ですがいまのところ継続しています。書くことは良いことだと感じています。

松島 鈞 (S63 教育学系)

ひきつづき「聖徳大学」(松戸市所在の女子大学)に副学長として務めています。

松田 光生 (H16 体育科学系)

本年3月に教職(流通経済大学)から引退しました。現在は、週の後半に臨床医の仕事が続いています。

真仁田 昭 (H2 心理学系)

なおいくつか社会的役割を果たしておりますが、体力の衰えを思うことしきりです。

馬淵 和夫 (H3 文芸・言語学系)

身体全身不自由。臍臓のため入院中。

三雲 昂 (H元 物理学系)

週3日の透析と車椅子生活の日常です。

三澤 義一 (H5 心身障害学系)

元気で暮らしております。

三井 秀樹 (H18 芸術学系)

定年後5年経ちますが、現在玉川大学芸術学部教授として教壇に立っております。次回楽しみに。

湊 吉正 (H7 教育学系)

腰痛等になやまされていますが、まずまず元気に過ごしております。広く浅くさまざまなことに興味関心をもっていますが、まとまりはつきません。

宮永 豊 (H16 体育科学系)

漸く在職中に手がけた訳本2巻が完成し、「筑波大学を卒業した」思いです。

三輪 辰郎 (H6 教育学系)

幸い元気に過ごしております。

三輪 正直 (H17 基礎医学系)

滋賀県長浜市の長浜バイオ大学に勤めております。

向高 祐邦 (H19 応用生物化学系)

今は町内会の会長として、市行政と地域住民のパイプ役をつとめています。

村木 征人 (H21 体育科学系)

現職(法政大学)の行事と重なり、会への出席は失礼させていただきます。おかげさまで在職時以上に元気で運動しております。

目崎 登 (H20 体育科学系)

帝京平成大学地域医療学部柔道整復学科長として、学生教育を続けております。

森 昭三 (H10 体育科学系)

NPO法人日本ヘルスツーリズム振興機構の世話をしています。旅による健康づくりです。

森野 宗明 (H6 文芸・言語学系)

体調不安定のため、欠席いたします。

八木 浩輔 (H10 物理学系)

浦和大学学長を務めて4年目になります。

安原 喜孝 (H12 芸術学系)

元気良く過ごしておりますが、当日は都合悪く残念ですが欠席させていただきます。

八代 勉 (H16 体育科学系)

筑波に戻り2年目、静かに年金生活を送っています。10月10日7年ぶりに学園祭に出かけ、若い人達にエネルギーをいただきました。

柳本 雄次 (H22 心身障害学系)

今年のホームカミングデイに参加し、山田学長の話で、筑波大学が目立とうとする努力が伺えました。

山内 芳文 (H19 教育学系)

4月から松戸の聖徳大学に勤務しています。筑波大学の附属図書館を利用する機会が増え、名誉教授への厚遇に感謝しています。

山形 和美 (H9 現代語・現代文化学系)

元気です。今年、3冊の本が出ます。(1冊はイタリアからです)

山口 勝弘 (H4 芸術学系)

ギリシャでの個展を計画中です。

山口 誠哉 (H2 社会医学系)

美術館、アトリエを作って絵を画いています。遠いので欠席させていただきます。

山口 満 (H13 教育学系)

平成22年4月から、中部学院大学特任教授として勤めています。

山澤 新吾 (S61 農林工学系)

筑波大学長山田先生のご講和があり、是非出席したいと思います。翌日12日は、筑波大学附属中学校の研究協議会があります。

山下 亀次郎 (H11 臨床医学系)

益々増加しております糖尿病診療と全国的な臨床研究に携わっております。

山根 國男 (H16 生物科学系)

毎日忙しく働いています。

山本 正三 (H3 地球科学系)

とし相応にくたれやすくなって、あちらこちら見物をしています。家内にほどほどにせよと云われています。筑波もずい分わかり、学生・大学院生との接触もまれになって、さみしい思いをすることが多くなりました。

山本 眞一 (H18 教育学系)

広島大学高等教育研究開発センター長として、単身赴任を続けています。

山本 文彦 (H12 芸術学系)

幸いに元気で専業画家を続けています。当日は、所属している美術団体の理事会と重なって、やむなく欠席いたします。

吉崎 繁 (H11 農林工学系)

もっぱら読書と犬との散歩で過ごしております。

吉澤 正 (H15 社会工学系)

東京地区国際プロフェッショナル専攻のアドバイザーボードにて、その活動に関心しました。東京キャンパスの新しい校舎の完成を楽しみにしています。

吉野 公喜 (H14 心身障害学系)

11月10日-20日、NPO法人「国際囲碁交流の会」で、メキシコ親善交流を予定しております。おかげさまで、元気に毎日を過ごしています。

吉野 正敏 (H3 地球科学系)

時々、筑波大学には学会などでゆきますが、11月12日は先約があり失礼します。

寄金 義紀 (H6 体育科学系)

毎日を元気で過ごしています。

若槻 雅男 (H10 物質工学系)

出張のため欠席します。多病息災と言うのでしょうか。またいまだに宛てにしてくれる人たちが、仕事しながら暮らしています。筑波大新聞5/10号、1、2面に紹介された取り組みは積極的に継続して欲しいと思います。

若松 美黄 (H10 体育科学系)

4月、旭日小授賞を受賞。

渡辺 章 (H14 社会科学系)

労働法講義のまとめの著作に取り組んでいます。ライフワークの法制史料研究を相変わらず、取り組んでいます。

渡邊 浩 (H4 社会工学系)

在職中の後半につくば市内の北西部に転勤用に入手した2nd houseの処分に悩んでいます。開発された住宅団地に道路一本隔てて向かい合う既存宅地で、団地のインフラは利用可能、土地は420坪と余裕があり、樹木多数が生育中。手をかければ広い芝生を維持することも可能。もし、家を建直して住んで見ようという方があれば、非常に安くお譲りする用意があります。

渡邊 光雄 (H18 教育学系)

元気で何とか過ごしております。

渡邊 良雄 (H6 生物科学系)

入院中ですので残念ですが欠席させていただきます。

叙

勲

平成22年春・秋の叙勲の榮譽に浴せられた会員は次のとおりです。誠におめでとうございます。

- (春) 旭日章 (旭日中綬章) 内山三郎 79歳
- (春) 瑞宝章 (瑞宝中綬章) 長尾昭哉 81歳
- (春) 瑞宝章 (瑞宝中綬章) 森昭三 75歳
- (春) 瑞宝章 (瑞宝中綬章) 成田十次郎 77歳
- (秋) 瑞宝章 (瑞宝中綬章) 山田圭一 78歳
- (秋) 瑞宝章 (瑞宝中綬章) 児玉之宏 81歳
- (秋) 瑞宝章 (瑞宝中綬章) 小磯謙吉 77歳

お悔やみ

御遺族の方等からご逝去のご連絡がありました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

氏名	元学系	享年	逝去年月日
松浦義行	体育科学系	80	平成22年1月10日
渡部景隆	地球科学系	93	平成22年1月10日
中山和彦	電子・情報工学系	76	平成22年1月11日
増田精一	歴史・人類学系	87	平成22年1月19日
高橋進	哲学・思想学系	82	平成22年1月22日
工藤喜作	哲学・思想学系	79	平成22年1月23日
酒井忠夫	歴史・人類学系	97	平成22年2月19日
和光信也	図書館情報学系	72	平成22年3月9日
安藤裕	物科学系	87	平成22年3月30日
中田祝夫	文芸・言語学系	94	平成22年4月13日
江口篤壽	体育科学系	87	平成22年5月20日
松木重雄	芸術学系	92	平成22年6月18日
南博方	社会科学系	80	平成22年6月18日
春山国広	体育科学系	72	平成22年6月30日
三枝充恵	哲学・思想学系	87	平成22年10月19日
齋藤誠二	社会科学系	78	平成22年10月19日
高橋恒郎	数学系	76	平成22年11月15日
原田馨	化学系	83	平成22年11月20日
三瀨信邦	社会科学系	91	平成22年10月2日
江原有信	生物科学系	89	平成22年8月30日
芳賀純	文芸・言語学系	79	平成23年1月18日
藤伊正	生物科学系	78	平成23年1月30日
澁川侃二	体育科学系	85	平成23年3月8日

事務局からお願い

☆ 次の先生方の消息についてご存知の方は、事務局までお知らせください。

- 廣川 洋一 (H11 哲学・思想学系)
- 福地 崇生 (S63 社会工学系)

☆ 引越し等で住所や連絡先を変更されたときは、お手数でも事務局までご連絡ください。

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学学生会館内 筑波大学名誉教授の会
Tel 029-853-7959 Fax 029-853-2380

編集後記

「昨年11月12日に筑波大学名誉教授の会が開かれ、50数名の方々が集まった。総会終了後、山田信博学長によるご講演があり「筑波大学の現況等・健康管理について」のお話をいただいた。大学ブランディング「IMAGINE THE FUTURE」の必要性和その向上への要望だけでなく、ご専門の糖尿病とその予防策について語っていただいた。学長は「皆さんは90歳までは生きてください。食事の量は若いときの半分程度にして、油ものは控えて、規則的な食生活をしてください。」と、お話の内容は私たちにとって大変示唆に満ちたものであり、是非会員の皆様にもお知らせしたく、事務局のお力添えをいただき本誌に掲載することができました。

また、今回の特別寄稿は、加齢とともに気になる介護の現況は、どうなっているのかについて紙屋克子先生(看護科学系)の一端を語っていただきました。本学名誉教授会員の近況報告で各分野でますますご活躍の様子を伺い、勇気づけられた方々も多いと思います。会議の後、学生会館内レストランで懇親会が開かれ会場に本学在学生在が10数名が集まってきて、筑波大メッセージ・ソング(作詞:一倉宏,作曲:吉川洋一郎)を歌ってくれました。しばし、「筑波未来船」に歓迎され、一緒に開かれた未来に進んでいる嬉しい気持ちになりました。本年は東京・大塚地区新校舎完成など新しいニュースがあります。次号にも引き続きユニークな近況ご報告をお寄せください。

(会報担当:島岡 丘・朽堀申二)